



ウイスタふじくら大泉店

(群馬県邑楽郡大泉町)

清水 靖夫店長



清水 店長

置いてタイニングルームを表現、勉強机の上にはワープロ、といったように家電製品と家具、調度類を組合わせた展示で生活シーンの提案を行っている。

家電製品を単に陳列するのではなく、生活シーンを再現させた商品提案コーナーを設けた点が旧店舗と大きく変わった点を実施した。

「顧客に家電製品を通じて夢を持ってもらえようようにしたい」というのが、提案型売り場を作った理由。各地に店舗見学に行ったりもした。視察でアメリカ旅行をした時に見た現地の家具屋さんの店作りが参考になったようだ。東



ウイスタふじくら大泉店の店舗

生活シーンを再現

顧客に愛される 商品提案コーナー新設

示もシステムキッチンの前にはテーブルを

「変わった店を作らないと差別化にならない。他店と比べてみてちょっとぐらいはマ



システムキッチンを展示する生活提案コーナーの一部

を入り口正面に配置、残りのスペースを接客カウンターの通路、商品展示に充てる。通路は広々として、売り場全体に余裕を持たせている。AV商品や調理家電、その他小モノ、最寄りの商品などは壁際に展示している。改装前に比べ在庫金額に変わりはないが、展示は減った。「売り場面積に比べると展示数は少ないかもしれないが、もともとこの広さで品揃えをできる限り多くしたところで量販店にはかなわない」と述べ、生活シーンの提案という形で展示のポイントを絞り品数の少なさをカバーする。

店売りで月商一千二百万円。スタッフは店長含め四人(女性三人)。平均月商が一千万円、ほとんどが店売り。「人手が足りず訪販ができないだけに、来店率を高めることが大切。そのためによいイメージの店作りは必要だった」と話している。(高崎)